

核燃料物質について講じられる防護措置の確認について

輸入注意事項63第39号 (63.11.24)

改正①輸入注意事項10第6号 (10.3.4) ②輸入注意事項12第82号 (12.12.26)

③輸入注意事項19第20号 (19.3.6)

「核物質の防護に関する条約」が昭和63年11月27日に我が国について効力を生じることに伴い、核燃料物質の輸入の承認に当たり、外国為替及び外国貿易法第67条第1項の規定により、当該核燃料物質について講じられる防護措置について資源エネルギー庁長官の承認を受けるべき旨の条件を付された場合には、当該核燃料物質を荷送人の施設から搬出する前に下記により資源エネルギー庁長官の確認を受けてください。①③

記

1 提出書類

- (1) 核燃料物質について講じられる防護措置に関する確認申請書 (別紙様式) (2通)
 - (2) 荷送人、荷受人及び運送人間の合意によって定められた防護措置に係る輸送計画書であつて、以下の事項を内容とするもの (1通)
 - ① 輸送関係者 (荷送人、荷受人及び運送人) の氏名及び住所
 - ② 核燃料物質の区分 (注1) 並びに核燃料物質の種類、量 (注2) 及び吸収線量率 (注3)
 - ③ 荷送人及び荷受人の施設の名称及び所在地
 - ④ 輸送経路及び輸送日程
 - ⑤ 輸送方式 (輸送手段、積付け方法等)
 - ⑥ 輸送責任者の氏名及び住所並びに輸送に係る責任が移転される日時及び場所並びに当該責任の移転に係る手続
 - ⑦ 輸送中の警備に関する事項 (注4)
 - ⑧ 連絡通報体制
 - ⑨ 計画された事項に変更が生じた場合又は生じることが明らかになった場合の措置
- (注1) 「核燃料物質の区分」には、核物質の防護に関する条約付属書IIに定める区分に従い、第1群、第2群若しくは第3群又は天然ウランの別を記載すること。

(注2) 「核燃料物質の量」には、核燃料物質の総量及びプルトニウム (プルトニウム238を含む場合には、その量についても記載すること)、ウラン235又はウラン233の量並びに照射された核燃料物質にあつては、照射前のそれらの量を記載すること。

(注3) 「吸収線量率」には、核燃料物質の表面から1メートルの距離において当該物質から放出された放射線が空気に吸収された場合の吸収線量率及び照射された核燃料物質にあつては、照射直後のその値を記載すること。

(注4) 輸送中に核燃料物質を一時保管する場合には、一時保管中の警備に関する

追

⑰

事項についても記載すること。

(3) その他防護措置の確認に当たり、必要と認められる書類 (1通)

2 提出先 ②

資源エネルギー庁電力・ガス事業部原子力政策課

[別紙様式] ③

核燃料物質について講じられる防護措置に関する確認申請書

資源エネルギー庁長官 殿

申請者名 _____
住 所 _____

電話番号 _____

記名押名 _____
又は 署名 _____

資 格 _____

申請年月日 _____

次の輸入の承認に係る核燃料物質について講じられる防護措置の確認を申請します。
輸入の承認の内容

番 号	商 品 名	型 及 び 銘 柄	数 量 及 び 単 位
日 付			
申請者の氏名及び住所			
氏名 _____ 住所 _____			

上記の輸入の承認に係る核燃料物質について講じられる防護措置を確認する。

資源エネルギー庁長官の記名押印

※確認数量 _____

資 格 _____
記名押印 _____